

# タンパク質とアミノ酸

食べたタンパク質の行き先は？

1年「生物基礎（2単位）」04

（ ）組（ ）番

氏名（ ）

授業の前提 次の「大前提」を確認する。

- (1) 生物は、細胞でできている。細胞は栄養分や酸素を取り込んで活動している。
- (2) 食べたタンパク質は、消化されて（分解されて）アミノ酸になり、体内に吸収される。
- (3) 細胞では、タンパク質が活動して、細胞がはたらいっている（生きている）。

授業の目標 1. 次のことを知る。

達成したら  
文右端□に



(4) タンパク質は20種類のアミノ酸がたくさん（平均・数百個）つながってできている。□

(5) 細胞内で20種類のアミノ酸を結合させて、タンパク質をつくっている。□

〔参考〕ヒトの体を構成するタンパク質は、数万種類もある（もっとあるとも言われている）。

〔予告〕どのように20種類のアミノ酸をつなぐのかについては、これからの授業で学びます。

(6) タンパク質をつくる材料のアミノ酸は、食べたタンパク質を消化したアミノ酸である。□

2. 上の前提の3つ、目標の3つをつながりのあるものにし、下の課題を2回の授業で達成する。

課題

上の授業の前提・授業の目標、参考として教科書p.53を読み、

**食べたタンパク質が、どのような過程を経て、細胞ではたらくタンパク質になるのか** について

(1) 説明するための図を下の空所に作成しなさい。

(2) 図を作成したら、他の人（3人）に説明をし、相手からコメントをもらいなさい。

※コメントをもらって、図をよりわかりやすいものにしていきましょう。

| 氏名（サイン） | 説明に関するコメントを書いてください |
|---------|--------------------|
|         |                    |
|         |                    |
|         |                    |